

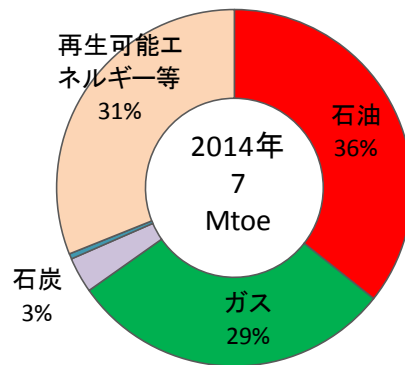
## 2-26 リトアニア

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 7 Mtoe (日本の 0.02 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 2.39 toe (日本の 0.69 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 25%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 10.3 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 0.9%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 3.52 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 37.7%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : なし

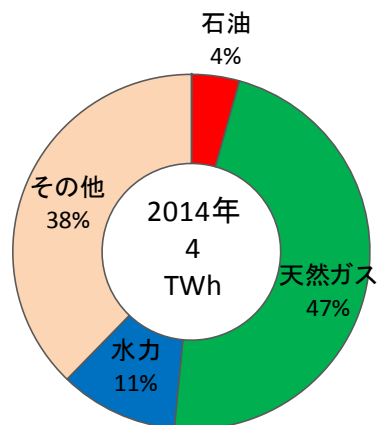
一次エネルギー供給構成 (2014年)



Country: Lithuania

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



Country: Lithuania

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- リトアニアのエネルギー政策は、エネルギー省が所管している。2016年12月現在のエネルギー大臣は、Rokas Masiulis氏である。

### (2) 基本政策

- リトアニアは、エネルギー供給の約8割（原油および天然ガスはほぼ100%）をロシアに依存しているため、対ロシア依存度の低減が重要な課題。
- 基本政策は、2012年6月に議会が承認した「国家エネルギー独立戦略（National Energy Independence Strategy）」による。同戦略はエネルギー安全保障の強化や競争力の向上などを目的に、2020年までの目標として、EUエネルギーシステムへの完全統合、最終エネルギー消費に占める再エネ比率を23%以上に高めることなどを掲げている。
- 同戦略は2020年までの Visaginas 原子力発電所運開を目標としているが、2012年10月の国民投票で反対が多かったことを受け、2016年12月現在も検討段階にある。

### (3) 最近の動向

- 2015年10月、リトアニアとポーランドは、両国を結ぶガスパイプライン建設に関する合意文書に調印した。同パイプラインの建設によってバルト三国とEUのガスパイプライン網との接続が初めて実現。2019年末までの建設完了が目標だったが、2016年9月に2021年末までの建設完了へと延期されている。
- 2015年10月、リトアニア西岸 Klaipėda の LNG ターミナルと北中部 Kuršėnai を結ぶ Klaipėda-Kuršėnai ガスパイプラインの建設が完了した。これにより、バルト3国全体のLNG需要の80%以上を供給可能なガス輸送システムが完成。
- 2015年12月、リトアニアとポーランドおよびスウェーデンをそれぞれ初めて接続する電力連系線 LitPol および Nordbalt が正式に開通（容量計1,200MW）した。今回の開通により、バルト3国はEUエネルギーシステムへの統合条件の1つである「2020年までに既設の発電容量に対する国際連系線容量の比率を10%以上に向上」が達成可能となる。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- リトアニア政府は、Visaginas 原子力発電所の建設に関して、日立製作所を戦略的投資家として選定しており、同社はABWRの輸出を想定している。2014年7月にリトアニア政府と日立製作所による原子力プロジェクトの事業会社設置に向けた協議に係る合意が発表されたが、2016年12月現在、それ以降の進展は見られていない。
- 2016年3月、リトアニアを訪問した高木経済産業副大臣は、同国のMasiulisエネルギー大臣と原子力の平和利用に関する協力覚書に署名した。同覚書は原子力開発に関する情報交換や福島事故後の原子力安全対策・緊急時対策の知見の共有などを含む。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Lithuania

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		7 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.39 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.16 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		25 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		10.3 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		3.52 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	3 %
	石油	36 %
	天然ガス	36 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	31 %
(8) エネルギーの輸入依存度		75 %
(9) 石油の輸入依存度		97 %
(10) 輸入原油の中東依存度		%
(11) 原油の輸入先	第1位	情報未入手
	第2位	
	第3位	

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA